

コミュニティ開発 レタカネ 平成25年度3次隊

私は2014年2月から、ボツワナの地方にあるボテティ郡庁で、コミュニティ開発の部署でボランティアをしています。

私の活動するクウェエ村には「ホステル」という施設があります。「ホステル」は村から遠方に住む子供達を集め、村の学校に通えるようにするための寄宿舎です。クウェエ村にあるホステルには145人の子供達が暮らしています。モンチッチみたいな子供達が、朝から晩まで毎日元気に遊び回っています。



ホステルの遊び場で折り重なる子供達。前からマモイーツちゃん、ンテボハーンちゃん、ケバアツアビーレちゃん、タメーロ君。

ホステルでは、子供が家に帰りたいあまり、ホステルから逃げ出してしまうという問題が起きていました。そこで、子供達が夢中になり、ホステル生活をより楽しんでもらう案を考えました。1つは「空手・ヌンチャクレッスン」、もう1つは「遊びワークショップ」です。

(1) 空手・ヌンチャクレッスン

ボツワナの子供達に人気の空手とヌンチャクと一緒に練習してします。楽しんでもらうと同時に、小さな頑張り続ける大切さを感じてもらおうことが目的です。

(2) 遊びワークショップ

身の回りにある物を使って、一緒にゲームや遊び道具をつくり出します。ものづくりや案出しを通じて、独創性や創造力を育むことが目的です。

ホステル生活をより楽しんでもらうのに加え、子供達の将来に役立つ習慣や考え方を身に付けるきっかけになればと考えています。



モアーヒ君（右）の上段突きと下段蹴りに耐えるオンピーレ君（左）。

ホステルの子供達はいたずらっ子ばかりで、私の話を全然聞いてくれません。その一方で、とても好奇心旺盛で、何にでも興味を持ちます。特に、アジア人の柔らかい直毛が珍しいらしく、私は毎日、子供達に全身の毛を触られています。また、何かができる時に子供達は「見て、見て！」と見せに来てくれて、「いいね！」と言うと「わーい！」と言ってとても喜んでくれます。

私は子供達の好奇心旺盛なところが大好きです。たとえボツワナでの任期を終えて5年後・10年後にこの子供達に会った時でも、今と変わらず好奇心旺盛で、何かに打ち込んでほしいと願っています。

▼活動についての詳細をブログで紹介しています。

<http://bobby-the-ostrich.at.webry.info/>

▼村の子供たちの写真



学校で踊りの練習をする子供達。左から、レモンツィーツェちゃん、ケバツァピーレちゃん、ンテボハーンちゃん、タメーロ君、ボンテちゃん、ンボハーンちゃん、。



雨の中で遊ぶ子供達。左からレフィルウェちゃん、ホラータちゃん、マモイーツちゃん、ディンボ君、ケイペーツェ君。



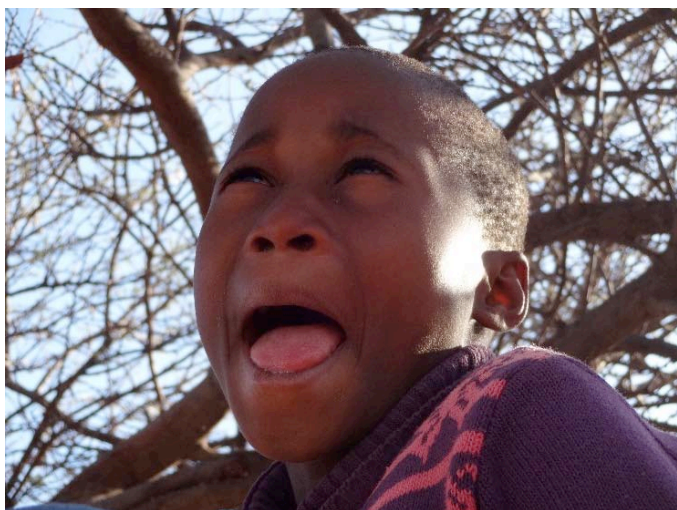
木の下で遊ぶ子供達。左からカテーホ君、マモイーツちゃん、レモンツィーツェちゃん、オレラテツェマンちゃん。



学校から楽しそうに帰って来るケバツァビーレちゃん。



木の上でのんびりするボンテちゃん。



木の上から降りられなくなって泣くバセビちゃん。



ピースサインをするツェピース君。



マモイーツちゃんのツルツルな頭。



ブーシ君（左）にお尻を蹴られてしまったカテーホ君（右）。



トテムポールのように顔が重なる子供達。左からセハネーロ君、オラティーレ君、ディボイキ君、ラーティ君。



木の枝でお尻を叩く子供達。左から、テッキーソ君、カモヘディーソ君、ケエラオフィーレ君、トゥマーロ君、モアーヒ君。